

小中連携教育便り

令和3年度 枕崎市立別府小学校・枕崎市立別府中学校 令和4年1月発行

11月24日（水）の枕崎市立別府小・中学校「小中連携教育」研究公開に際しまして、御多用にもかかわらず南薩教育事務所並びに枕崎市教育委員会、各関係者の皆様の御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和2年度から「自ら学び、考え、心身ともに健やかに育つ子どもの育成～地域や家庭との連携を中心に、義務教育9年間を通して～」を研究主題とし、「家庭・地域とのつながり」を視点に小中が連携して取り組んでまいりました。分科会では、活発な意見交換がなされ、たくさんの御意見、御示唆、御助言をいただき、両校職員にとっても大変貴重な機会となりました。別府小・中学校職員一同、今後も日々研究と修養に励んでまいります。ありがとうございました。

研究主題

自ら学び、考え、心身ともに健やかに育つ子どもの育成
～ 地域や家庭との連携を中心に義務教育9年間を通して ～



【ヤンセ踊り】



【中2英語】



【小5社会】 ←



【全体会Ⅰ】



【分科会】



【全体会Ⅱ】 ←

※ 次号では、これまでの振り返りや来年度の小中連携教育計画についてお知らせします。

研究の柱1 学びに向かう意欲を高めるための地域・家庭との連携

「地域とのつながり」を視点にした授業実践（社会）

単元名 「水産業のさかんな地域」
 目標 枕崎で行われている漁業の特徴や遠洋漁業で行われている一本釣りについて調べる学習を通して、一本釣りが今でも行われているよさを多角的に考え、一本釣りには、水産資源を守ったり、より高い品質のカツオを消費者に届けたりするよさがあることを捉えることができる。

参加者の感想（一部）

○ 地域人材活用によって、本時の学習のねらいに子どもたちが意欲的に取り組み、学習を広め、深めることができている授業だったと思います。ICT活用で、資料の提示も効果的になされ、分かりやすい、ねらいにそった資料だったと思う。子どもたちの学びに向かう姿勢がすばらしく、感心しました。

○ 児童が静かに落ち着いて学習に向かう姿勢から、小中連携で9年間を見通した共通理解と実践が身に付いているからだと伝わってきました。また、地域人材の活用による聞く力の育成を柱として取り組まれており、担任との打ち合わせで、授業でのキーワードを伝えておくことがポイントだと学ばせていただいたので、実際に今後生かしていきたいと思えます。感染予防の徹底等、お気遣い、ありがとうございました。



グループでの話し合い



地域人材オンライン交流



研究の柱2 小学校と中学校の接続を意識した共通実践

「小学校と中学校の共通実践事項」を視点にした授業実践（英語）

単元名 「NEW HORIZON English Course 2
 Unit 6 Research Your Topic」

目標 調査結果をより分かりやすく伝えたり、聞き手を惹きつけたりするためにどのような工夫ができるかを考え、発表原稿を書くことができる。

参加者の感想（一部）

○ 導入の英語の雰囲気づくりの時点からレベルの高さを感じさせられ、生徒の可能性を最大限引き出すような仕掛けがなされていました。自身の授業でも参考にさせていただきたい点も多く、勉強になりました。

○ 生徒の質の高さに驚きました。一人一人の目が輝いており、教師の話全員がうなずいて聞いている姿は、これまでの小学校からの指導としつけが行き届いているたまものと思った。

○ 小・中連携の取組がよくなされており、日頃の指導の成果を見ることができました。生徒も活動に一生懸命取り組んでおり、いろいろな意見が活発に出ていた。日頃の指導の結果だと思う。今日の授業を参考に今後の授業改善に生かしていきたい。



ICTによる導入の工夫



グループによる話し合い活動